

早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 6月分

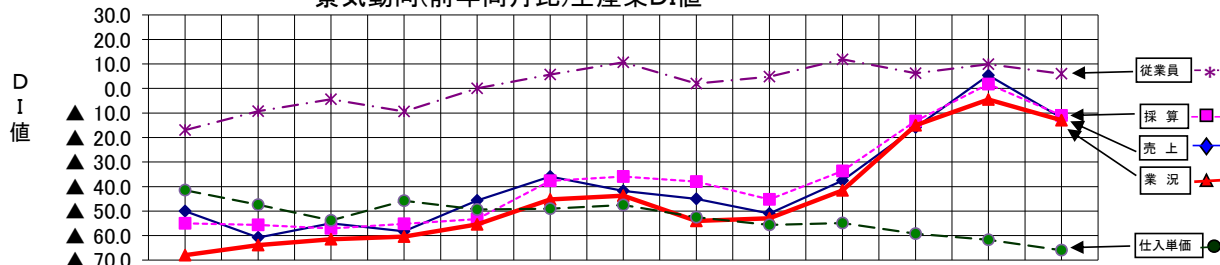
【6月の概要】

**業況判断DIは全ての項目で低下
原材料や燃料等高騰の影響が懸念され、先行きは依然不透明なまま**

業況判断DIは、売上で17.8ポイント、業況で13.1ポイントそれぞれ悪化するなど全ての項目において低下した。先行き見通しについても採算・業況で若干改善したものの低水準で推移している。

ワクチン接種の加速による景気回復へ期待感はあるものの本格的な回復には程遠い状況であり、原材料や燃料の高騰、半導体不足の影響等も出てきており、依然として厳しい経営状況が窺える。

景気動向(前年同月比)全産業DI値



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2020年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	2021年6月
売上	▲ 50.0	▲ 60.8	▲ 55.0	▲ 58.3	▲ 45.7	▲ 35.9	▲ 41.8	▲ 45.0	▲ 51.0	▲ 37.6	▲ 15.9	▲ 5.4	▲ 12.0
採算	▲ 55.0	▲ 55.7	▲ 57.1	▲ 55.2	▲ 53.3	▲ 37.7	▲ 35.9	▲ 38.0	▲ 45.2	▲ 33.7	▲ 13.3	▲ 1.8	▲ 11.0
業況	▲ 68.0	▲ 63.9	▲ 61.5	▲ 60.4	▲ 55.4	▲ 45.3	▲ 43.7	▲ 54.0	▲ 52.9	▲ 41.6	▲ 15.0	▲ 4.5	▲ 13.0
仕入単価	▲ 41.5	▲ 47.4	▲ 53.8	▲ 45.8	▲ 49.4	▲ 49.0	▲ 47.5	▲ 52.5	▲ 55.7	▲ 54.9	▲ 59.2	▲ 61.7	▲ 66.0
従業員	▲ 17.0	▲ 9.3	▲ 4.4	▲ 9.4	0.0	5.7	10.7	2.0	4.8	11.9	6.2	9.9	6.0

- ・プラス幅が減少したDI値：従業員3.9ポイント（需給均衡局面へ）
- ・プラスからマイナスに転じたDI値：売上▲17.4ポイント、採算▲12.8ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：業況▲8.5ポイント、仕入単価▲4.3ポイント

向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
4月	▲ 5.3	▲ 8.0	▲ 7.1	▲ 26.6	5.3
5月	▲ 5.4	▲ 14.4	▲ 16.2	▲ 30.6	8.1
6月	▲ 8.0	▲ 12.0	▲ 11.0	▲ 33.0	8.0

- ・見通しが改善したDI値：採算2.4ポイント、業況5.2ポイント、従業員0.1ポイント（需給均衡局面へ）
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲2.6ポイント、仕入単価▲2.4ポイント

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	電機	コロナウィルスの影響で、工事が先延ばしになっている。
	ゼネコン	ワクチン接種加速で景気回復への希望はあるものの業況には変化はない。
製造業	板金・溶接	鋼材（ステンレス、鉄）の価格上昇が続いている。今後まだ続く見通し（前年比2割程UP）。
	鉄工	今後の原材料の価格高騰が懸念される。コロナの早期収束を願う。
卸売業	青果	業務用の販売状況は依然として厳しい。
	水産物卸	商材の仕入れ価格が高騰しているが、価格転嫁できず採算悪化。
小売業	自動車販売	世界的な半導体不足により納期が遅れている車種増加。
サービス業	看板業	新型コロナによる影響はあるも、昨年よりは好転している。
	運輸	軽油価格の高騰による影響が懸念される。
	タクシー	22時以降の運賃2割増の時間帯に人が戻らず、業績改善が見込めない。